水戸市立大場小学校　学校だより
令和５年度　第４号　2023.7.3

おおばっこ

『いい顔　いい言葉　いい思い』

自ら　ともに　つながる

E-mail　510131@sch.ibk.ed.jp　　Tel　029-269-2103　Fax 029-269-2159

蒸し暑い毎日が続いています。熱中症対策に配慮しながらの休み時間ではありますが，子供たちは，汗いっぱいになりながら，元気に外遊びを楽しんでいます。

先日の授業参観・懇談会等へのご出席ありがとうございました。授業参観では，お子様のがんばっている様子をご覧いただけたのではないでしょうか。子供たちは，毎日学校で，社会で生きていく力を身に付けるためにがんばっています。友達との関係に悩んだり，学習につまずいたりすることも大切な学びの１つです。困っていることを乗り越えて成長することができるよう，褒めたり励ましたりのお声掛けをお願いします。お家の方々の温かい励ましが，子供たちのがんばる力となります。ご支援・ご協力よろしくお願いいたします。

＜授業参観（道徳）　真剣に考え，話し合い，多様な価値観を共有することを目指します。＞

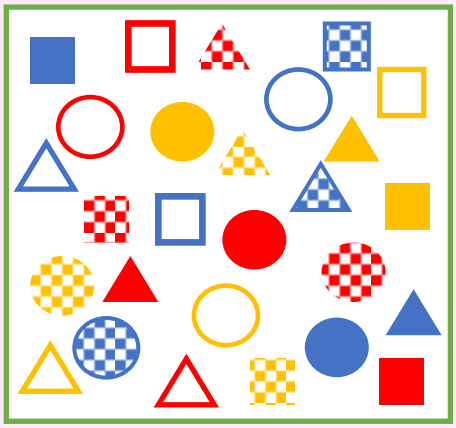
つながる思い　～「みんなちがって、みんないい」～

以前に参加した講演会で「多様性」についての話を伺う機会がありました。その内容の一部をご紹介したいと思います。（拝聴したことをまとめさせていただいた私見になります。ご了承願います。）

右のような図を見ると，人間は，分けたくなる。バラバラだと捉えにくく，いっぺんに処理することができないので，単純に考えたくなるからである。

これは人間同士にも当てはまり，共通点があると親近感がわくので，　仲間さがしをしたくなる。本来，人間は多様性に満ちているのに　「分けたくなる」のです。これが，単純に捉えるための「分類」であれば問題はないが，「分類」すると「多数派と少数派」が見えるようになる。そして，少数派を「統合」しようとすると同調圧力となり，「排除」につながってしまうこともある。

社会も人間も多様なのに，「固定概念」「当たり前」「ふつう」という考え，思い込みの「壁」　が「無意識の偏見」を生み出す。



『同じ場面に出会っても，感じることも考えることも，どう行動するかも，一人一人違います。』このことについて，「その通り」と思う方，「いや，同じこともある」と思う方，「１つの集団なのだから，同じ行動をとらないと」と思う方など，その思いや考えは様々なのだと思います。

子供たちには，一人一人の違いを認め合うことができるように，自分と違う他者を排除することがないように，また，自分が他者と違うことを負い目に感じることがないように，生きていってほしいと願っています。そのためには，人と**「つながる」中で，思いや考えを生かし**，共に生きるための方策を考えていくことが大切だと思っています。

金子みすゞさんの詩「私と小鳥と鈴と」の一節**「みんなちがって、みんないい」**の言葉のように，共に生きる社会を担う存在となる成長を支えていきたいと思っています。ご支援ご協力よろしくお願いいたします。

「私と小鳥と鈴と」　金子みすゞ

私が両手をひろげても、
お空はちっとも飛べないが、
飛べる小鳥は私のように、
地面を速くは走れない。
私がからだをゆすっても、
きれいな音は出ないけど、
あの鳴る鈴は私のように、
たくさんな唄は知らないよ。
鈴と、小鳥と、それから私、
みんなちがって、みんないい。